

## 会議報告書

開催年月日	2005年9月25日(日) 11:55～15:00
会議の名称	第1回 予防接種委員会
開催場所	新大阪ワシントンプラザ 葵の間
会議の主催者	日本外来小児科学会予防接種委員会
出席者	永井崇雄委員長、崎山 弘、田原卓浩、寺田喜平、宮崎千明、横田俊一郎、藤岡雅司
1 開会及び昼食	永井委員長挨拶
2 委員自己紹介	(略)
3 報告事項	(永井委員長)
(1) 予防接種委員会の設立経緯について	
(2) 最近の予防接種行政の動き;BCG、日本脳炎、麻しん・風しんなど	
(3) 日本外来小児科学会パブリックコメントの説明	
(4) BCG接種体制緊急実態調査の報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ BCG問題が委員会設立の契機となった。</li> <li>・ 厚労省の責任逃れの状況をきちんとしたデータで出そうと考えた。</li> <li>・ 92.1%の市町村から回収できた。</li> <li>・ 結果的に国は市町村に責任や判断を丸投げしている状況が明らかになった。</li> <li>・ 第9回日本ワクチン学会で発表し、メディアへの情報提供も考慮している。</li> </ul>
(5) 麻しん、風しん定期予防接種に関する日本小児科学会の提言について	
4 協議事項	予防接種委員会の今後の活動について
(1) 日本版ACIP設立について(中長期的方針)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小児科医や感染症専門家が実際の法令決定に携われるような体制作りを目指す</li> <li>・ 厚生官僚だけに責任を負わすことのないような体制作りを目指す</li> </ul>
(2) 小児科学会や小児科医会との連携について(短期的方針)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予防接種に関する委員会の中で意見をだせるような立場を探る</li> </ul>
(3) 法令改正の不備の指摘について(短期的方針)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法律の専門家に確認する作業が必要</li> <li>・ 対案を出すことも必要</li> <li>・ 日本脳炎については経過措置の要望書を提出</li> <li>・ 法律の矛盾点の指摘だけでなく、疾病コントロールの視点からの矛盾点(キャッチアップの必要性など)を指摘する</li> </ul>
(4) メディアとの関係について(中長期的方針)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ マスコミにパブリシティーとして取り上げられるための情報発信の方法を整理する</li> <li>・ 基本的には、子どもたちに一番近いところにいる、子どもたちの代弁者としての立場で意見を出す</li> </ul>
(5) 喫緊の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ BCG調査(ワクチン学会での発表、自治体への報告、マスコミへの情報提供) 担当:永井委員長</li> <li>・ 日本脳炎定期予防接種経過措置要望書の提出 担当:藤岡</li> <li>・ 法令の不備のまとめ 担当:藤岡</li> </ul>
(6) 次回以降の委員会開催について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年2回程度の会合を大阪で予定</li> <li>・ 厚生労働省担当者との面談時には東京で開催</li> </ul>